

この一覧表は、年間指導計画の作成に必要な下記の内容について記載しています。
生徒の学習状況に合わせて、年間指導計画を作成する際にお役立てください。

①分野、領域

分野は「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」、領域は「表現や鑑賞の題材」「鑑賞中心の題材」の分類を示しています。

②題材名（配当時間）

教科書のページ数、題材名、配当時間を記載しています。配当時間は、生徒の学習状況に応じて柔軟な取り扱いができるよう、幅をもたせて設定しています。

③学習活動

各題材の学習活動の流れを示しています。教科書紙面上では「表現」及び「鑑賞」のアイコンを示して、学習の流れをわかりやすく表記しています。

④目標

各題材の目標は、学習指導要領に示された資質・能力の三つの柱にもとづき、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3項目で示しています。教科書に掲載している各題材の目標と同じものです。

⑤観点別評価規準例

「表現や鑑賞の題材」では3観点6項目の評価規準例を、「鑑賞中心の題材」では3観点3項目の評価規準例を掲載しています。表現題材としても扱うことが考えられる「鑑賞中心の題材」については、※を付して表現の評価規準例も併記しました。記載しているのはそれぞれ「おおむね満足できる状況」(B)の評価規準例です。省略した表記はそれぞれ次のようになります。

- 「知」＝「知識・技能」の知識に関する評価規準
- 「技」＝「知識・技能」の技能に関する評価規準
- 「発」＝「思考・判断・表現」の発想や構想に関する評価規準
- 「鑑」＝「思考・判断・表現」の鑑賞に関する評価規準
- 「態表」＝表現の「主体的に学習に取り組む態度」に関する評価規準
- 「態鑑」＝鑑賞の「主体的に学習に取り組む態度」に関する評価規準

⑥学習指導要領との関連

学習指導要領との関連を示しています。〔共通事項〕については、全ての題材に共通して当てはまることからこの一覧表では省略しています。

⑦道徳との関連

道徳科の22の内容項目から関連するものを示しています。

⑧他教科との関連

他教科と関連する題材について、関連する教科名を示しています。

⑨SDGsとの関連

SDGsと関連する題材について、関連する目標の番号を示しています。

①		②		③		④			⑤						⑥		⑦	⑧	⑨
分野	領域	題材名 (配当時間)	学習活動	目標			観点別評価規準例						学習指導要領 との関連		道徳との関連 (関連する内容項目)	他教科との 関連	SDGsとの 関連		
				知識及び技能	思考力、判断力、 表現力等	学びに向かう力、 人間性等	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		A表現	B鑑賞					
							知識（知）	技能（技）	発想・構想（発）	鑑賞（鑑）	表現（態表）	鑑賞（態鑑）							
	表現や	P.16～17 見つめ、感じ取り、描く (2～4時間)	○身近なものをもつ美しさやよさに関心をもち、身近なものを見つめ、感じ取った特徴や、ものに対する自分の思いなどをもとに主題を生み出す。 ○主題をもとに、形や色彩、用具の使い方などの構想を練る。 ○構図や色などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	描きたいものを形や色彩、光などから捉え、材料や用具を工夫して表す。	身近なものから感じ取ったことや考えたことをもとに主題を見つけ、自分なりに工夫して構想を練る。	自分の見方や感じ方を大切に、身近なものを表したり、作品を鑑賞したりする活動に楽しく取り組む。	形や色彩、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、身近なものを全体のイメージで捉えることを理解している。	自分の表したいものに合った材料や用具を選択し、意図に応じて工夫して表している。	身近なものを見つめ、感じ取った特徴や、ものに対する自分の思いなどをもとに主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	友達の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、身近なものに対する作者の心情や表現の意図と工夫について考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく身近なものを描く表現の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく身近なものを描いた作品からさまざまな表現の工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア(ア) (2)ア(ア)(イ)	(1)ア(ア)イ(ア)					